

七宝焼き (島根) 参加人数 10

実施場所 松江訓練センター

(島根)支部

事業の実施状況写真



実施を終えて(感想等)

マクセサリーに申し込み。9月には市美展出展
に向けて、製作中の方と様々おられます。
10人と大所帯の教室なので、お互いから
声がかかり、講師の先生は30張りほど
大忙しです。

七宝焼き (島根) 参加人数 11

実施場所 松江訓練センター

() 支部

事業の実施状況写真



実施を終えて(感想等)

土台の白透や、真鍮色の釉薬を、塗りこむ。
ついつい厚塗りになって（まうので、）一回塗り
毎に厚塗り、たかたか、完成した時は、土台に
入らなくたり、銀張り技法を施しても
せ、おくの、銀の、厚塗りのため、映えなく
たてしよう。 なるべく薄めに、塗るよう配
慮が必要と感ずる。

七宝焼き (島根) 参加人数 10

実施場所 松江訓練センター

(高松)支部

事業の実施状況写真



実施を終えて(感想等)

同じ色をつらっていても、デザインや技法、個人個人の色の盛り方によって、お皿の色合いや雰囲気も異なります。人の作品を見て「ふーん」と感嘆したり、一人一人の技能に合わせてのアドバイスをいただけてうれしかったです。

七宝焼

(島根) 参加人数 10

実施場所 松江訓練センター

() 支部

事業の実施状況写真



実施を終えて(感想等)

好みの色を色見本を見て選び、各人の下地の釉薬をのせて焼成後、いよいよ色の釉薬にこりこり手すべし。下地の釉薬の種類はもろろん釉薬の盛り方の微妙さも違っていて、色の出方も全然変わってきます。ちなみに七宝のおもしろく奥深いところもあり、一瞬の違いで失敗してしまう心配でもあります。「あの人か出したような色か出した」と思っても、火の環境にも左右され、仲の「その色」が出ない今日の教室でした。

七宝焼

(島根) 参加人数 10

実施場所 松江訓練センター

() 支部

事業の実施状況写真



実施を終えて(感想等)

市美展に向けて出展作品に挑戦する方々
何人かおられまし。 図案に付込み。 色に
付込み。 バランスに付込み...。 そればかりに之ら
われ可くて。 住まがわり。 ちよとの間。 作品から遠
ざかいておたり。 来月に市美展も近付き。 いふ
いふ。 大詰め。 作品も。 光るそり 仕上げの段
階とすたてすたり。 何れ進むに。 図りの
人たてからの批評や 届きしを もらい。 何とか 二き
かけ せうで可。

七宝焼

(島根) 参加人数 12

実施場所 松江訓練センター

() 支部

事業の実施状況写真



実施を終えて(感想等)

市美展作品作りも完成。取り回りはじめから
数える。これこれし年近くお世話の方もおられ
完成品の前には感謝ひしおとい、たかん
じてた。今年出品しない方も「来年は
がんばってしようかいほ？」と奮起!! されて
いまし。

七宝焼

(島根) 参加人数 11

実施場所 松江訓練センター

() 支部

事業の実施状況写真



実施を終えて(感想等)

市美展を終えて一くまり・・・と思つたのも束の間。
次は10日に女子文化祭に向けて作品の
総仕上げ。金銅板に何回も作り
、子供達は色の手紙作り 作る ついて、厚盤
Hに作りこむ...。そのあと、工房に入れる
のに 削り、作り、作り、作り 四苦八苦
でした。

七宝焼

(島根) 参加人数 10

実施場所 松江訓練センター

() 支部

事業の実施状況写真



実施を終えて(感想等)

七宝焼のメンバーも何年も経ってベテランの方から、今回から初めてという初心者の方まで、さまざま。お互いに、神々あたりり、教えあたりりするものも、またよい交流あつくとおもっている方が、これから日メンバーが揃った場合、楽しく続けていけたらと思います。

七宝焼

(島根) 参加人数 11

実施場所 松江訓練センター

() 支部

事業の実施状況写真



実施を終えて(感想等)

同じ材料で同じデザイン鋳板を使用しても、
各自の色のとらえ方で、全く違ったイメージを昇っ
アワセカラーに変身。まず、単色にすれば、複色
色を使用するかによって違われ、複色色でも合
せり色によってイメージは広がる。複色色を
使った場合、色と色の境界線をはっきりと
くっきりは、より区別するのでは無く、どうやったら
自然に見えるのか、皆で工夫に回音八音
しておられました。

七宝焼き (島根) 参加人数 12

実施場所 松江訓練センター

() 支部

事業の実施状況写真



実施を終えて(感想等)

この秋のシーズンに合わせ、特に、作品に季節感か
表われます。 むねじや 葉っぱの デザイン 銅板
を選ばれる方が多く、紅葉や 枯れ葉のイメージ
を どうやって 出そうかと 頑張っておられます。
その銅板の肌を見て 思案するのと、それか、アクセサ
リーと作り、人に 身につけられているところを 想像して
思案するのとでは、手に 色合いに 違いか、おられ、面
白いです。